

□研修機関情報

<p>【法人情報】</p>	<p>学校法人 川口学園 〒171-8543 東京都豊島区高田三丁目11番17号 代表者 理事長 川口 拓也</p>
<p>【研修機関情報】</p>	<p>早稲田速記医療福祉専門学校 〒171-8543 東京都豊島区高田三丁目11番17号 〈理念〉不偏不羈（ふへんふき） 〈研修施設・設備〉506教室 介護実習室 入浴実習室 第2パソコン室 早稲田速記医療福祉専門学校（教員数：32名、職員数：25名、学生数：594名） ☒</p>

□研修事業情報

<p>【研修の概要】</p>	<p>対象：職業訓練受講者 研修スケジュール：2023年8月17日～2023年11月16日（300時間） 実習の有無：無 [研修受講までの流れ] ◀募集期間▶2023年6月29日～2023年7月13日 ◀施設見学会▶7月1日、7月5日、7月7日、7月10日 ◀面接実施▶2023年7月28日 ◀選考結果発送日▶2023年8月3日 ◀費用▶受講料：無料 テキスト代：6,600円 法定講習に係る補講費用1時間あたり5,000円</p>																																																																																																				
<p>【研修カリキュラム】</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>科目の概要</th> <th>単位数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="22">学 科</td> <td>職務の理解</td> <td>多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く職場の理解</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>介護における尊厳の保持・自立支援</td> <td>人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>介護の基本</td> <td>介護職の役割、専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全、安全管理</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>介護・福祉サービスの理解と医療との連携</td> <td>介護保険制度、障害福祉制度及びその他制度、医療との連携とリハビリテーション</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>介護におけるコミュニケーション技術</td> <td>介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームコミュニケーション</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>変化の理解</td> <td>変化に対応することからの変化と任意、高齢者と医療</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>認知症の理解</td> <td>認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と看護管理、認知症に伴うことろからの変化と日常生活、家族への支援</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>障害の理解</td> <td>障害の基礎的知識、障害の医学的側面、生活障害、心障・行動的特徴、かわり支障等の基礎的知識</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ことろからたのしくみと生活支援技術（基本知識の学習）</td> <td>介護の基本的事務、介護に関することろのしくみの基礎的知識、介護に関することろからのしくみと生活支援技術</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>ことろからたのしくみと生活支援技術（生活支援技術の講義・実習）1</td> <td>生活支援技術（移動、移動、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠）、終末期介護に関する知識</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>振り返り</td> <td>振り返りと就業への備えと研修終了後における継続的な研修</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>福祉住環境整備の基本</td> <td>安全な暮らしと住環境の整備</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>介護報酬の基礎知識</td> <td>介護報酬の流れ、費用の流れと基礎的知識</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>介護レクリエーション</td> <td>介護現場における高齢者向けレクリエーションの基礎</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>在宅と施設との関係と対応</td> <td>在宅と施設との関係、手回し介助の基礎</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>介護記録の上手な書き方</td> <td>記録の目的、意義、書き方</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>介護・医療・多職種との連携</td> <td>介護・医療・多職種との連携の意義・目的</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>社会保険制度のしくみと介護・医療にかかると費用</td> <td>各種社会保険制度を理解</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>認知症理解研修</td> <td>認知症の病態と治療の最新情報</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>フレイルと地域ネットワーク</td> <td>介護予防と高齢者の生きがいややりがいの意義・目的、地域ケアシステムと地域で取り組んでいる事業</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>外国人と一緒に働く</td> <td>日本で学び、介護現場で就業する外国人の意義・目的</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>継続研修、ストレスをためない働き方</td> <td>ストレスをためない介護現場での仕事の仕方</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>介護のITのポイント</td> <td>介護のITの基礎知識</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>コンピュータ基礎知識</td> <td>情報処理とコンピュータの仕組み、コンピュータの仕組み（五次演算）、インターネット、ファイルシステム、ファイルの整理、インターネットとネットワーク</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>就職支援</td> <td>応募書類の書き方、面接対策</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>修了試験</td> <td>介護職員初任者研修修了試験</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ことろからたのしくみと生活支援技術（生活支援技術の講義・実習）2</td> <td>生活支援技術（移動、移動、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠）、終末期に関する学習</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>ことろからたのしくみと生活支援技術（生活支援技術の演習）</td> <td>介護過程の基礎的知識、総合生活支援技術演習</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>介護レクリエーション演習</td> <td>介護現場における高齢者向けレクリエーションの基礎演習</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>自立支援</td> <td>利用者主体の自立支援に向けた入浴、移動、食事、排泄</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>アプリケーション操作演習</td> <td>Windows基本操作、Wordの基本操作（レイアウト・タブ）、Excelの基本操作（表の挿入・編集）、PowerPointの基本操作（スライドショー）、Photoshopの基本操作（画像の作成、編集）（COURTNEY/FIND）、Photoshopの基本操作（画像の作成、編集）</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>【職業人講話】「介護業界の動向、採用状況、求められる人材事例」（講話者未定）</td> <td></td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	科目	科目の概要	単位数	学 科	職務の理解	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く職場の理解	6	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護	9	介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全、安全管理	6	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度、障害福祉制度及びその他制度、医療との連携とリハビリテーション	9	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームコミュニケーション	6	変化の理解	変化に対応することからの変化と任意、高齢者と医療	6	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と看護管理、認知症に伴うことろからの変化と日常生活、家族への支援	6	障害の理解	障害の基礎的知識、障害の医学的側面、生活障害、心障・行動的特徴、かわり支障等の基礎的知識	3	ことろからたのしくみと生活支援技術（基本知識の学習）	介護の基本的事務、介護に関することろのしくみの基礎的知識、介護に関することろからのしくみと生活支援技術	10	ことろからたのしくみと生活支援技術（生活支援技術の講義・実習）1	生活支援技術（移動、移動、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠）、終末期介護に関する知識	7	振り返り	振り返りと就業への備えと研修終了後における継続的な研修	4	福祉住環境整備の基本	安全な暮らしと住環境の整備	11	介護報酬の基礎知識	介護報酬の流れ、費用の流れと基礎的知識	12	介護レクリエーション	介護現場における高齢者向けレクリエーションの基礎	6	在宅と施設との関係と対応	在宅と施設との関係、手回し介助の基礎	5	介護記録の上手な書き方	記録の目的、意義、書き方	6	介護・医療・多職種との連携	介護・医療・多職種との連携の意義・目的	5	社会保険制度のしくみと介護・医療にかかると費用	各種社会保険制度を理解	5	認知症理解研修	認知症の病態と治療の最新情報	5	フレイルと地域ネットワーク	介護予防と高齢者の生きがいややりがいの意義・目的、地域ケアシステムと地域で取り組んでいる事業	6	外国人と一緒に働く	日本で学び、介護現場で就業する外国人の意義・目的	6	継続研修、ストレスをためない働き方	ストレスをためない介護現場での仕事の仕方	3	介護のITのポイント	介護のITの基礎知識	6	コンピュータ基礎知識	情報処理とコンピュータの仕組み、コンピュータの仕組み（五次演算）、インターネット、ファイルシステム、ファイルの整理、インターネットとネットワーク	10	就職支援	応募書類の書き方、面接対策	9	修了試験	介護職員初任者研修修了試験	1	ことろからたのしくみと生活支援技術（生活支援技術の講義・実習）2	生活支援技術（移動、移動、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠）、終末期に関する学習	48	ことろからたのしくみと生活支援技術（生活支援技術の演習）	介護過程の基礎的知識、総合生活支援技術演習	10	介護レクリエーション演習	介護現場における高齢者向けレクリエーションの基礎演習	12	自立支援	利用者主体の自立支援に向けた入浴、移動、食事、排泄	22	アプリケーション操作演習	Windows基本操作、Wordの基本操作（レイアウト・タブ）、Excelの基本操作（表の挿入・編集）、PowerPointの基本操作（スライドショー）、Photoshopの基本操作（画像の作成、編集）（COURTNEY/FIND）、Photoshopの基本操作（画像の作成、編集）	34	【職業人講話】「介護業界の動向、採用状況、求められる人材事例」（講話者未定）		6
科目	科目の概要	単位数																																																																																																			
学 科	職務の理解	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く職場の理解	6																																																																																																		
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護	9																																																																																																		
	介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全、安全管理	6																																																																																																		
	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度、障害福祉制度及びその他制度、医療との連携とリハビリテーション	9																																																																																																		
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームコミュニケーション	6																																																																																																		
	変化の理解	変化に対応することからの変化と任意、高齢者と医療	6																																																																																																		
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と看護管理、認知症に伴うことろからの変化と日常生活、家族への支援	6																																																																																																		
	障害の理解	障害の基礎的知識、障害の医学的側面、生活障害、心障・行動的特徴、かわり支障等の基礎的知識	3																																																																																																		
	ことろからたのしくみと生活支援技術（基本知識の学習）	介護の基本的事務、介護に関することろのしくみの基礎的知識、介護に関することろからのしくみと生活支援技術	10																																																																																																		
	ことろからたのしくみと生活支援技術（生活支援技術の講義・実習）1	生活支援技術（移動、移動、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠）、終末期介護に関する知識	7																																																																																																		
	振り返り	振り返りと就業への備えと研修終了後における継続的な研修	4																																																																																																		
	福祉住環境整備の基本	安全な暮らしと住環境の整備	11																																																																																																		
	介護報酬の基礎知識	介護報酬の流れ、費用の流れと基礎的知識	12																																																																																																		
	介護レクリエーション	介護現場における高齢者向けレクリエーションの基礎	6																																																																																																		
	在宅と施設との関係と対応	在宅と施設との関係、手回し介助の基礎	5																																																																																																		
	介護記録の上手な書き方	記録の目的、意義、書き方	6																																																																																																		
	介護・医療・多職種との連携	介護・医療・多職種との連携の意義・目的	5																																																																																																		
	社会保険制度のしくみと介護・医療にかかると費用	各種社会保険制度を理解	5																																																																																																		
	認知症理解研修	認知症の病態と治療の最新情報	5																																																																																																		
	フレイルと地域ネットワーク	介護予防と高齢者の生きがいややりがいの意義・目的、地域ケアシステムと地域で取り組んでいる事業	6																																																																																																		
	外国人と一緒に働く	日本で学び、介護現場で就業する外国人の意義・目的	6																																																																																																		
	継続研修、ストレスをためない働き方	ストレスをためない介護現場での仕事の仕方	3																																																																																																		
介護のITのポイント	介護のITの基礎知識	6																																																																																																			
コンピュータ基礎知識	情報処理とコンピュータの仕組み、コンピュータの仕組み（五次演算）、インターネット、ファイルシステム、ファイルの整理、インターネットとネットワーク	10																																																																																																			
就職支援	応募書類の書き方、面接対策	9																																																																																																			
修了試験	介護職員初任者研修修了試験	1																																																																																																			
ことろからたのしくみと生活支援技術（生活支援技術の講義・実習）2	生活支援技術（移動、移動、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠）、終末期に関する学習	48																																																																																																			
ことろからたのしくみと生活支援技術（生活支援技術の演習）	介護過程の基礎的知識、総合生活支援技術演習	10																																																																																																			
介護レクリエーション演習	介護現場における高齢者向けレクリエーションの基礎演習	12																																																																																																			
自立支援	利用者主体の自立支援に向けた入浴、移動、食事、排泄	22																																																																																																			
アプリケーション操作演習	Windows基本操作、Wordの基本操作（レイアウト・タブ）、Excelの基本操作（表の挿入・編集）、PowerPointの基本操作（スライドショー）、Photoshopの基本操作（画像の作成、編集）（COURTNEY/FIND）、Photoshopの基本操作（画像の作成、編集）	34																																																																																																			
【職業人講話】「介護業界の動向、採用状況、求められる人材事例」（講話者未定）		6																																																																																																			
<p>【修了評価】</p>	<p>介護職員初任者研修修了試験実施 修了評価基準は、次のとおり、理解度及び実技習得度の高い順にA、B、C、Dの4区分で評価した上で、筆記試験及び実技試験の修了評価がC以上の受講者を、評価基準を満たしたものと認定する。D評価の場合は再履修とし、補習後に再度修了認定試験を受験する。 評価基準（100点を満点とする） A = 90点以上、B = 80～89点、C = 70～79点、D = 70点未満</p>																																																																																																				

□連絡先等

<p>連絡先</p>	<p>学校法人 川口学園 〒171-8543 東京都豊島区高田三丁目11番17号 苦情対応者：経営企画室 室長 前野 電話番号：03-3208-8461</p>
------------	--